

## 岐阜県におけるオオクチバス *Micropterus salmoides* (LACÉPÈDE) の分布の実態

立川 亙・田口錠次

### The Distribution of *Micropterus salmoides* (LACÉPÈDE) in Gifu Prefecture

WATARU TACHIKAWA・JOHJI TAGUCHI

オオクチバスは、ルアー釣りの対象魚として、近年我国の温水域で次第にその分布を拡げているが、魚食性が強いために、他の有用魚種に対する食害が心配されている。岐阜県においても、確かな移殖の記録がないにもかかわらず、最近になって各地で生息が確認され、漁業組合等で問題化されている。本種の評価に害益両面があるために、現時点では、本県における分布の拡大を放置できないとする考え方が強い。本種の生態については、まだ不明の点が多いので、この解明を進める必要があり、とりあえず、本県における生息分布について調査し、その実態をとりまとめた。

#### 調査の方法

岐阜県下の33漁業協同組合に対して、オオクチバスの生息について照会し、情報の提供を受け、これに基づいて生息現地を調査した。現地調査を行った期日と地区は下記のとおりである。

- 東濃地区 (1979年10月24~25日)  
中津川市, 恵那市, 恵那郡串原村。
- 西南濃地区 (1979年10月30~31日)  
羽島郡川島町, 海津郡海津町, 本巣郡穂積町, 山県郡伊自良村。
- 中濃地区 (1979年11月16日)  
加茂郡八百津町, 可児郡御嵩町。

#### 調査の結果

岐阜県におけるオオクチバスの生息分布は、

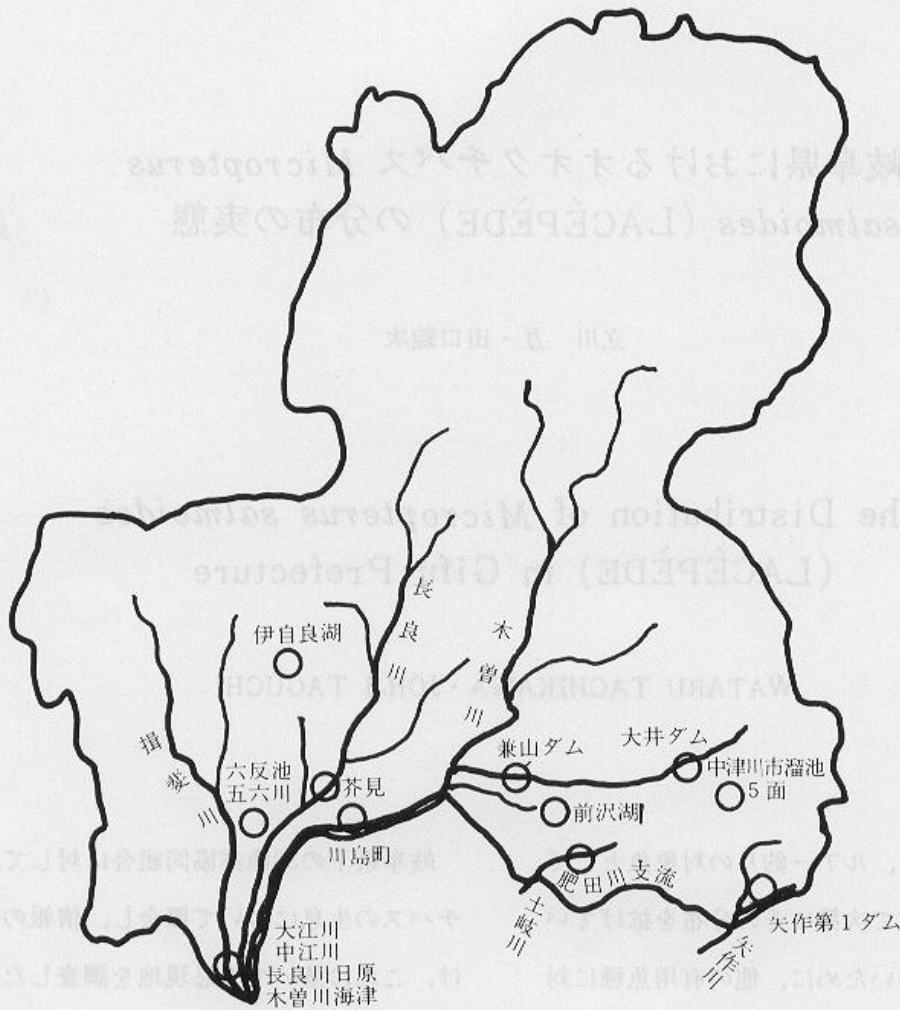


図 岐阜県におけるオオクチバスの分布 (1979)  
 ○ 生息場所

図に示すとおり、本県の南部に限られるが、4市3郡にわたり、池沼および河川別には表に示すとおり、11の池沼あるいは人工湖と5河川におよんでいる。生息の初めて確認された時期については、1976年が8水面、1977年が2水面、1978年が6水面、1979年が3水面で、1976年以降に集中している。いずれの場合にも移殖の記録はなく、何者かによって秘かに移殖が行われたか、あるいは水路を通じて流入するという

一トが想定される。

○ 東濃地区

中津川市の農業用溜池5面には現在多数生息しており、中でも、神谷池、ひょうたん池では平均1kgくらいの大物が釣れるということで人気があり、この2か所の溜池へ釣りに来る遊漁者は年間延約2,000人、漁獲量は約10トンに達すると推定される。恵那漁協の中島氏によると、オオクチバスの分布は表の5水面に限られず、

表 オオクチパスの地域別生息場所

| 地域名   | 湖沼河川名   | 場 所       | 最初の生息<br>発見時期 | 水面の種類     | 満水位標高<br>m | 面 積<br>㎡  | 平均水深<br>m | 表面水温    |         |     |
|-------|---------|-----------|---------------|-----------|------------|-----------|-----------|---------|---------|-----|
|       |         |           |               |           |            |           |           | 最高<br>℃ | 最低<br>℃ |     |
| 東濃地域  | 松田大堤    | 中津川市松田区   | 1976          | 農業溜池      | 535        | 50,000    | 2.6       | 20      | 0       |     |
|       | 会所沢池    | 中津川市駒場会所沢 | 1976          | "         | 365        | 10,000    | 3.0       | 25      | 5       |     |
|       | 神谷池     | 中津川市駒場西山  | 1976          | "         | 364        | 55,000    | 2.5       | 28      | 0       |     |
|       | ひょうたん池  | "         | 1976          | "         | 342        | 100,000   | 2.0       | 28      | 4       |     |
|       | 第四堤     | "         | 1979          | "         | 340        | 9,750     | 1.4       | 28*     | 0       |     |
|       | 木曾川大井ダム | 恵那市大井町奥戸  | 1978          | 多目的ダム     | 258.4      | 1,442,312 | 3.8       | 22.0*   | 4.0     |     |
|       | 矢作川第一ダム | 恵那郡串原村    | 1976          | "         | 298        | 2,700,000 | 29.6      | 21      | 4       |     |
|       | 防災溜池    | 土岐市肥田町    | 1979          | 防災、農業溜池   | 350        | 3,000     | 5.0       | 25      | 0       |     |
|       | 中濃地域    | 前沢湖       | 可児郡御嵩町        | 1979      | かんがい、用人工湖  | 326       | 191,000   | 10.5    | 28.5    | 0   |
|       |         | 木曾川兼山ダム   | 加茂郡八百津町       | 1976      | 多目的ダム      | 95.5      | 1,083,000 | 9.0     | 25.8    | 2.6 |
| 西南濃地域 | 伊自良湖    | 山県郡伊自良村   | 1976          | かんがい、用人工湖 | 100        | 98,050    | 5.5       | 25      | 10      |     |
|       | 六反池     | 本巢郡穂積町    | 1978          | 溜池        | 9          | 3,000     | 2.7       | 25      | 0       |     |
|       | 五六川     | "         | 1977          | 河川        | 5          |           | 2         | 25      | 0       |     |
|       | 木曾川     | 羽島郡川島町    | 1978          | "         | 10         |           | 4         | 24.2    | 4.6     |     |
|       | 長良川     | 海津郡海津町    | 1976          | "         | 0          |           | 4         | 25      | 4.6     |     |
|       | 長良川     | 岐阜市芥見     | 1977          | "         | 10         |           | 4         | 26      | 6       |     |
|       | 大江山     | 海津郡海津町    | 1978          | "         | 0          |           | 4         | 26.5    | 6.4     |     |
|       | 大江山     | "         | 1978          | "         | 0          |           | 4         | 33.0    | 7.0     |     |
|       | 大江山     | "         | 1978          | "         | 0          |           | 4         | 33.0    | 7.0     |     |

※水深1mの水温

中津川市周辺のほとんどの溜池に拡がっていると考えられ、また、これらの最初の由来地は、長野県下伊奈郡阿南町の溜池であろうという。阿南町には、1968年に芦の湖から移殖され、これが繁殖しており、中津川市周辺からも多くのマニアが釣りに出かけていたので、そのうちの誰かが持ち帰って放流したものでであろうということである。

木曾川の大井ダムでは、1978年に初めて300gくらいのものが刺網で100尾くらい漁獲され、それ以後も時折刺網にかかるが、その量は多くないという。

矢作川の矢作川第一ダムでは、1976年から生息が認められ、コイ、フナ等の刺網によって年間200gくらいのものが1,500尾くらい漁獲されているということである。なお、矢作川では、1979年9月に、ダム湛水域より上流の根羽川のヤナで数尾漁獲され、流水部分にまで分布が認められている。矢作川に注ぐ段戸川上流（愛知県）にはオオクチバスのルアー釣りを営業している業者があり、それが矢作川における本種の由来地であろうといわれている。

なお、現地調査はしなかったが、土岐川支流肥田川の防災溜池にも生息しているという情報がある。

#### ○ 中濃地区

前沢湖は、最大有効貯水量200万 $m^3$ の農業溜池で、1978年度に完成して、1979年2月から湛水を開始したものであるが、同年11月10日に全水量を落水したところ、約300kgのオオクチバスとその外に少々的小ブナとオタマジャクシがと

れたという。オオクチバスのおよその体重組成は、最小で50gくらい、最大で250gくらい、この間の分布は連続して150~200gが主体をなしたが、この外に約1kgの大形魚が4尾いたという。ちなみに蓄養6日後の無作為抽出10尾の平均体重と標準偏差は $127.8 \pm 42.0$ gであった。前沢湖の水源にはオオクチバスの生息する水面はないから、何者かによって放流されたとしか考えられないが、それにしてもこれだけの大量であれば、50~250gの群については、1979年の春にこゝで産まれて生育したと考えるのが妥当であろう。体重215gおよび100gの標本について鱗相を調べた結果でも、いずれも休止帯はみられず0年魚と考えられた。したがって、本湖の場合は、1979年2月末の湛水開始以後に成魚が放流され、それらの産卵によって繁殖したものと推定される。

木曾川の兼山ダムでは1976年に数尾と、1979年に1尾釣獲されたという情報があるに過ぎない。

#### ○ 西南濃地区

伊自良湖は、1968年度に完成した最大有効貯水量54万 $m^3$ の農業用溜池で、フナ、コイ、ワカサギが放流され、伊自良村が区画漁業権を所有している。1979年10月下旬に水門工事のために落水したところ、およそ100~600gのオオクチバスが100尾くらい採捕され、その外に小形魚が泥の中で死んでいたという。

穂積町の六反池では、1978年に3尾、同町地内の五六川では1977年に1尾漁獲されたという情報がある。

海津郡海津町周辺の河川、木曾川、長良川、大江川、中江川にはいずれも最近生息が認められ時折フナ網などで漁獲されるが、最初の発見は、木曾川では1976年、他は1978年である。ただ長良川では1977年に上流の岐阜市芥見で漁獲された記録がある。

なお、川島町地先の木曾川本流の瀬では、1978年にアユの刺網に平均100g ぐらいのものが400~500尾混獲されたが、1979年には、漁獲の情報はなかったということである。

### オオクチバスの評価

オオクチバスは魚食性が強いということで、他の生息魚種におよぼす影響が一番問題になるが、本県においては、移殖後の年数が浅く、ま

だ他の生息魚種の組成に明らかな変化を認める例はない。

中津川市の神谷池とひょうたん池についての聞きとり調査によれば、本種が漁獲量の第一にあげられるほど繁殖しているにもかかわらず、他の魚種すなわちオイカワ、フナ、コイ、ライギョ、モロコ、ウグイ、ワカサギなどが減ったとか、あるいは魚種間の量的順位関係が変化したなどの現象は認められないという。本種のよく繁殖した例はいずれも人工溜池であるが、最近河川にも生息が認められていることから、とくにアユに対する食害を警戒する気運は強い。前沢湖および伊自良湖では、いずれも、今回の落水を機に本種の絶滅の処置がとられている。

本種は、ルアー釣りの遊漁魚種として人気があるが、青臭い独特の臭いが強く、食用魚としての評価はまだ一定していない。